

6. 気象の状況

三面海に囲まれた本県は、南九州、四国南部、紀伊半島及び伊豆半島と並んで温暖な地方です。しかし両総台地は内陸性気候で寒暖差はやや大きく、反対に太平洋及び内陸沿岸は海洋性の気候で比較的暖かいです。

雨量は地域により差はありますが、房総丘陵の南側が多く、北西部は少ない。特に内湾沿岸は本県でも雨量の少ない地域です。

平成12年の天候の特徴は、冬は寒暖の変化が大きかったです。平年より高かったです。春は寒暖の変化が大きく降水量が平年より多かったです。夏は気温が高く降水量は平年より多かったです。秋は南岸に前線が停滞して日照時間が平年より少なかったです。

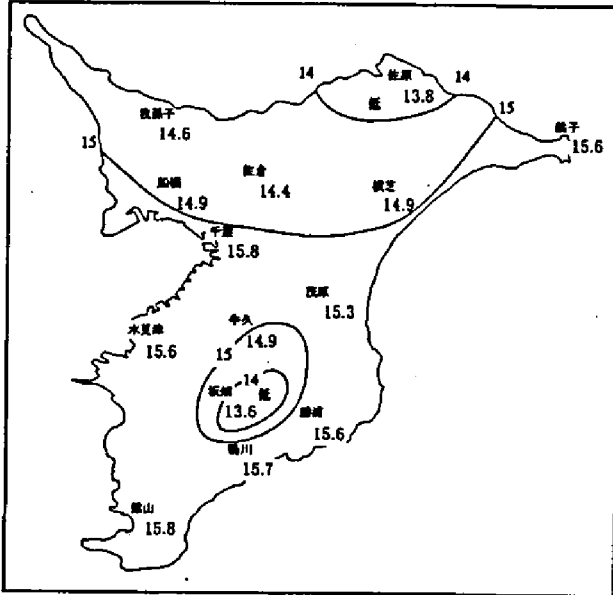
平成13年の天候の特徴は、冬は太平洋側では低気圧の影響を受けやすく、多雨、寡照でした。春は4月以降高気圧に覆われることが多く、気温は高く、降水量はかなり少なかったです。夏は梅雨明けがかなり早く、気温は高く、降水量は少なかったです。秋は低気圧や台風によりまとまった降水があったため多く、期間を通しては高気圧に覆われる日が多く多照となりました。

気象分布図

県内年間平均気温(°C)

県内年間降水量(mm)

2001年



2001年

